

※本教材の所要時間は40分程度です

あなたにピッタリの オープンコンテンツを見つけよう！

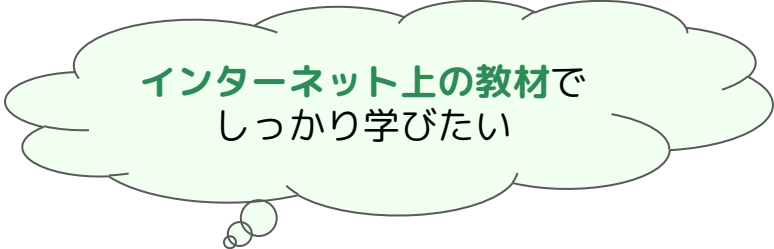
学びの宝箱

安部正健, A. S., Z. H., 山本笙太

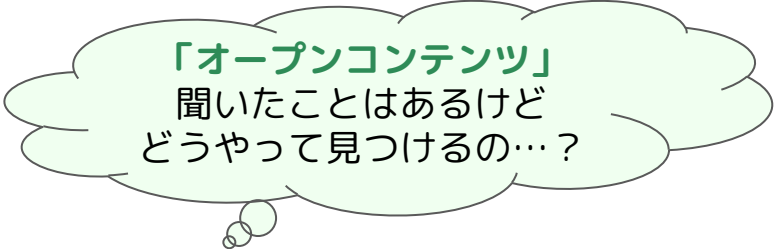


はじめに

このように思ったことはありませんか？

A light green thought bubble with a black outline and a small tail at the bottom. It contains the text "インターネット上の教材で しっかり学びたい".

インターネット上の教材で
しっかり学びたい

A light green thought bubble with a black outline and a small tail at the bottom. It contains the text "「オープンコンテンツ」 聞いたことはあるけど どうやって見つけるの…?".

「オープンコンテンツ」
聞いたことはあるけど
どうやって見つけるの…？

この教材でのオープンコンテンツとは…

インターネットを基盤に教育機関の枠を超えて学習機会を増進させる取組み「オープン・エデュケーション」において、学習者と教育者の双方が活用できる教材のこと

→本教材では特に**いつでも学習者がアクセスできるもの**を取り上げます！

目次

【はじめに】（2-5）

- 目次（3）
- この教材の対象者と学習目標（4）
- 事前テスト（5）

【展開】（6-11）

- オープンコンテンツで学ぶメリットとデメリット（7）
- オープンコンテンツにアクセスできるサイトを知ろう（8-9）
- 自分に合ったオープンコンテンツを見つけるコツ（10）
- 実際にオープンコンテンツを探してみよう（11）

【まとめ】（12-16）

- 事後テスト（13）
- 発展編（14）
- テストの解答例（15）
- 参考文献（16）

この教材の対象者と学習目標

この教材は、

オープンコンテンツに興味がある

オープンコンテンツを使ってみたい！ と思っている

皆さんに向けて作られています

この教材を終えると、

オープンコンテンツって**どこで、誰が、どうやって**使えるのか説明できる

オープンコンテンツは**学習者**にとってどんなことに役立つのか説明できる

興味のあるオープンコンテンツを**自分で見つけられる**

ようになります！

事前テスト

※解答例は15ページにあります

このテストでは、今の時点でのあなたの知識を確認します。現時点で全て解くことができたあなたは、この教材よりも発展的な教材で学ぶことをおすすめします！

1. 学習者にとってのオープンコンテンツのメリットを3つ列挙してみよう。
2. 下の文章中の下線部(1)~(3)について、内容が正しければ「○」、誤っていれば「×」を記し、誤っている場合はどこが誤っているかを説明してみよう。

オープンコンテンツとは、高校や大学などの教育機関の枠を超えて学習を促進するための教材であり、(1)オンラインでアクセスできるデジタル形式の教材が一般的である。教科書、講義動画、シラバス、学習アプリケーションなど様々な形態が存在し、学習者は(2)全世界のオープンコンテンツを一つに集約したウェブサイトを通じて自分に合った教材を見つけることができる。(3)大学が提供するオープンコンテンツは利用者が中高生に限られることが多いものの、基本的にはインターネットにアクセスできる人なら誰でも利用できる仕組みになっている。

	正誤	説明（正誤で「×」と答えた場合のみ記入）
(1)		
(2)		
(3)		

最後にテストで確認します
しっかり学んでいこう！

ここから新しい内容に入っていきます！

オープンコンテンツで学ぶメリットとデメリット

メリット

- ✓ インターネットを使って**いつでも**教材にアクセスできる
- ✓ インターネットを使って**どこでも**教材にアクセスできる
- ✓ 公開されている多数の教材の中から**自分に合うものを選ぶ**ことができる
- ✓ コースを修了したデジタル証明を**就学・就職に生かせる**可能性がある
- ✓ **リカレント教育**に活用できる

デメリット

- × 教材の**質がピンキリ**
- × 学校教育機関とは違い、サークルや部活などの**課外活動を通じた学びがない**
- × **統一的なプラットフォームがない**ため、教育機関やNPOが各自で運営する個別のウェブサイトを訪ねる必要がある

オープンコンテンツにアクセスできるサイトを知ろう

北海道大学オープンコースウェア



出典: <https://ocw.hokudai.ac.jp/search-lecture>

提供者：北海道大学

- 細切れの動画に分割されているので、パートごとに学習できる
- 講義スライド公開
- 英語講義数は20程度（2024年6月）
- 正規授業に加え、対外向けの公開講座も含まれている

UTokyo OCW



出典: <https://ocw.u-tokyo.ac.jp/>

提供者：東京大学

- 動画・講義スライド公開
- 英語講義数は60程度（2024年6月）
- UTokyo OCWは正規授業のみを公開しており、対外向けのオープンキャンパスや公開講座は東大TVで公開されている

オープンコンテンツにアクセスできるサイトを知ろう

Asuka Academy



出典: <https://www.asuka-academy.com/index.html#gsc.tab=0>

提供者: NPO Asuka Academy

- MIT や Yale 大学、UCI など、海外大学の講義動画を日本語字幕付きで配信
- Asuka Academy が独自に作成した認定問題で基準をクリアすれば、修了証とオープンバッジが発行される

OER Commons



出典: <https://oercommons.org/>

提供者: Institute for the Study of Knowledge Management in Education (ISKME)

- 教育の公平性と柔軟性を促進するためにつくられた、英語のプラットフォーム
- 教材への自由なアクセスに加え、改変や再配布も許可されている

自分に合ったオープンコンテンツを見つけるコツ

どこで探すの？

- 直接「オープンコンテンツ 数学」のように検索しても、求める教材はヒットしにくい
- **オープンコンテンツをまとめたポータルサイト**内で検索するのがオススメ

学ぶのに必要な知識レベルは？

- 大学や企業が公開するOCW・MOOCは、基本的に高校修了程度の学力があれば十分
- OER Commonsなど一部のサイトでは、教材ごとに**対象とするレベル**が示されている

どんな教材が信頼できる？

- 通常OCWやMOOCは作成者の情報も公開していて、受講者の評価が確認できることもある
- 一部の教材検索サイトでは利用者からの評価による**レーティング機能**があり、信頼できる教材を選んで学習できる

実際にオープンコンテンツを探してみよう

北海道大学オープンコースウェアで、
気になるキーワードを検索してみよう



北海道大学 オープンコースウェア

HOKKAIDO UNIVERSITY OPEN COURSE WARE

教材を探す

フリーワード検索：



検索

例えばこんなキーワードで
検索してみよう

「SDG s 農業」 🔍

ここまでの内容は大丈夫？
テストで確認してみよう！

まとめ

事後テスト

1. 学習者にとってのオープンコンテンツのメリットを3つ列挙してみよう（[ヒントは7ページ](#)）。
2. 下の文章中の下線部(1)～(3)について、内容が正しければ「○」、誤っていれば「×」を記し、誤っている場合はどこが誤っているかを説明してみよう（ヒントは7～9ページ）。

オープンコンテンツとは、高校や大学などの教育機関の枠を超えて学習を促進するための教材であり、(1)オンラインでアクセスできるデジタル形式の教材が一般的である。教科書、講義動画、シラバス、学習アプリケーションなど様々な形態が存在し、学習者は(2)全世界のオープンコンテンツを一つに集約したウェブサイトを通じて自分に合った教材を見つけることができる。(3)大学が提供するオープンコンテンツは利用者が中高生に限られることが多いものの、基本的にはインターネットにアクセスできる人なら誰でも利用できる仕組みになっている。

	正誤	説明（正誤で「×」と答えた場合のみ記入）
(1)		
(2)		
(3)		

3. 自分の興味に合うオープンコンテンツを教材の一覧表にあるウェブサイトを使って見つけ、コンテンツ（コース）の名前と選んだ理由を書いてみよう（[ヒントは10～11ページ](#)）。

使ったウェブサイト	
選んだコンテンツ	
選んだ理由	

発展編

お気に入りのオープンコンテンツ検索サイトを1つ、ブラウザに**ブックマークしよう！**

興味のあるキーワードを、教材で紹介した4つのオープンコンテンツ検索サイトで検索して、**結果を比べてみよう！**

今日学んだことを親や友達に紹介するとしたら、**どう説明するか考えてみよう！**

テストの解答例

- インターネットを使っていつでも教材にアクセスできる
インターネットを使ってどこでも教材にアクセスできる
公開されている多数の教材の中から自分に合うものを選ぶことができる
コースを修了したデジタル証明を就学・就職に生かせる可能性がある
リカレント教育に活用できる

などから3つ

- | | 正誤 | 説明（正誤で「×」と答えた場合のみ記入） |
|-----|----|--|
| (1) | ○ | |
| (2) | × | 2024年5月現在そのようなサイトはなく、大学などが運営する個別のウェブサイトを訪ねる必要がある（ OER search のようなまとめサイトも完全に網羅的ではなく、個別のウェブサイトのひとつとみなせる） |
| (3) | × | 大学が提供するオープンコンテンツも基本的に利用者の制限はない |

- （略）

参考文献

Institute for the Study of Knowledge Management of Education, OER Commons,
<https://oercommons.org/> (2024年9月7日閲覧)

NPO Asuka Academy, Asuka Academy, <https://www.asuka-academy.com/> (2024年9月7日閲覧)

東京大学, UTokyo OCW, <https://ocw.u-tokyo.ac.jp/> (2024年9月7日閲覧)

北海道大学, 北海道大学オープンコースウェア, <https://ocw.hokudai.ac.jp/search-lecture>
(2024年9月7日閲覧)